

## これからの各種団体の人材確保・運営について

(行政区やコミュニティー、PTAなどの自分が所属する団体や地域の行事などで感じていること。)

【各種団体の現状】（役員選出や運営など困っていること、感じていることなど自由に記入）		
○行政区に関する意見	○各種団体に関する意見	○全体、その他の意見
・常会にでても男性ばかり。	・子供会、役員の確保が難しい。（現役員の子供が卒業したら消滅？）	・子どもの人数減少にともない役員選出が困難。
・常会、掃除、～活動と出る回数が多い。	・子供会・・・現状では子供がいる（明和）ので年2回程度の活動があると思う。	・年齢制限が必要なのでは・・・高齢化。
・住民の数に対して役が多すぎる。	・働く母親が増えているので役員活動が負担。	・役員になっても出てこない（出られない）。
・高齢化により、各地区の役員選出において、限られた人材に役職が集中する。毎年同じ人ばかり役員になってしまう。1人でいくつもの役をもって忙しい。	・民生委員で、1人で鴨ヶ谷区と長者平区の2地区を担当しているが、委員の居住地区の情報は入りやすいものの、居住地区外の情報は入りづらく解決するのは困難である。	・個人の生活基盤が最優先され、ゆとりが少ないため、地域における共有活動への向上力が減少。
・役員、特に会長又は代表者を受けの人がない。理由：ひとつの「役」を受けると、関連していくつもの「役」がついて回り負担増につながる。	・中学校PTA役員（市P割当）に、なり手がいない。	・過去踏襲のやり方が続くことが良い時代であったが、現在高齢化が進んでいることで、問題意識も希薄しているし、機能しているか疑問がある。
・地域住民が高齢化してしまい、区長職等の仕事、任務がとれなくなりつつある。	・PTA会長のあて職が多く、多忙になる。	・車両の運転ができなくなり、活発な行動がとれなくなる。
・行事をするのに人手が不足する。	・消防団員確保に苦労していて、新入団員がいない時は、定年を延長して団員として活動してもらっている。	・集会場（憩いの家）の老朽化がひどく、又地盤沈下のためか10cm程建物が傾いている。
・地区のお祭りで、若連となる若者が少なく、以前ならOBとなっていた年齢を超えても若連として活動している。	・新城製材組合の副会長をしているが、昨年2社廃業して全役員が役員になっている。鳳来製材組合との合併等考える時期にきているのではないかと思う。	・地域協議会への参加が負担。
・お祭り若連・・・小学生を加えおはやしを行っている。		
・転入者は、神事等の宗教行事にどのように付き合うのか？（氏子でない者が役員に選出された時にもお宮へ上がることを強要されているように思う）	・例えば高齢者の多い団体（亀山城址古宮川環境整備クラブ）などが行っている活動をどう若い世代につないでいくか。亀山城址の草刈やイルミネーションなど。	
・古来よりお盆の行事に転入者はどう対処すべきか？区の常会扱いになっている行事もある。また区より、宗教行事に拠出してる部分がある。		
・区役員、特に地区長。菅守地区は4年に1回。		
【どうしたい】（こうなったらいいなあ、こうしなければなど自由に記入。）		
○行政区に関する意見	○全体、その他の意見	
・女性ができるように仕組みを考える。	・各団体の行事を精選し、参加者（役員、一般）が実施できる活動内容とする。（活性化が失われるデメリットがある。）	
・他地区との合併。（ただし、問題点がたくさんある。）	・どこまでの内容を、自助、共助、公助とするか。	
・お祭りの地区の独立性が強いので、安易な合併は問題が多い。	・地域住民の意識改革。←共通の課題に対する連携。（個人オンリーの生活⇒むら社会での協力体制）づくり	
・役割を分けて、兼務による負担の軽減ができると。	・年齢的に50才以上60才未満の役員で構成し、有給制度が進む中、地域貢献手当予算の仕組みをつくる。	
・区長役職の順番制（数年間分を決めておく）	・市として、各区民にあるべき原則を示す。	
・開成・菅守で地区長1人。	・子どもの人数が増えてほしい。	
	・ひとり住まいの女性の協力。（できることを、やってもらう。）	
	・運営、企画する楽しみを理解してもらえたら、もう少し確保できるのでは？と思いながらなかなかできず。	